

## Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて！～

### 薬学部の国際化

夏祭りの太鼓の音にワクワクする季節になりました。一方で梅雨明け前から暑さが厳しく、電気代の高騰などから「夏休みは生徒に来てほしくない」という大学や、「研究室の冷蔵庫の使いっぱなしは届け出制」など、研究活動の死活問題になるとまでいわれる大学も出てきました。

また、韓国籍や中国籍の薬学生などが増えており、大学の雰囲気も変化しています。先日、ある大学の先生から「韓国籍の学生が入学してきたが、日本語が通じなくて困っている」と相談されました。メディセレにも韓国籍の学生が複数人いますが、多くの学生は日本語が通じますし、コミュニケーションにも問題ありませんでした。

そのため、その大学の先生には他大学の例をお伝えしました。ある大学では入学説明会で「この説明会の内容を理解できない人は入学を取りやめたほうが良いです」とはっきり伝えていますが、一方、「当大学は韓国籍の学生を受け入れていますので来てください！」と韓国に広告を出している薬学部もあり、その薬学部では韓国籍の学生に対応する担当者を置いています。

大学の先生にその状況をお伝えすると、「うちは何も考えずにやっていたから、入学してもコミュニケーションがうまく取れず、定期テストも点数を取れないのかな。来年からはそこも気を付けます」と言っていました。日本の薬学部も国際化が進んでいますね。

しゃっちょうは行く！



メディセレスクール  
ファウンダー

児島 恵美子